成２４年１２月２５日
第５３号
日本テクノ協力会・日電協（水戸）発行

でんでん・みと情報

民主党　衆院選で惨敗

民主党：「負けに不思議の負けなし」
自民党：「勝ちには不思議の勝ちあり」

こんにちは。吾輩は猫のでんでんです。

日本列島は年末になり、平年よりも厳しい冷え込みに襲われているね。人間さま方は体に十分注意していただきたい。

１２月１６日の衆議院選挙は、与党・民主党が惨敗したね。大臣１３人のうち８人が落選してしまった。内閣の要の官房長官も落ちた。これは戦後初めてとのことだ。

民主党の壊滅的敗北の直後、読売新聞は次のような記事を載せている。

民主党が元気に再起することを期待して、それを紹介しておこう。

◆選挙は野球に似ている。負けるには負けるだけの理由がある。プロ野球で著名な野村克也さんの座右の戒めを借りれば「勝ちには不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし」

◆３年余の政権運営を顧みて、民主党の惨敗は不思議ではない。決まったことを、バラバラにならないで守るということができなかった。

◆勝ちに不思議の勝ちあり。これは自民党にあてはまる。自民党は野球で言うと、表の攻撃で得点したにすぎない。しかも敵失である。裏の守備、すなはち、来年夏の参院選でしくじれば、ねじれ国会はさらにつづく。

◆「時の人」にサラリーマン川柳の秀句を贈ろう。

「喜ぶな上司と野球に裏がある」。試合の途中で祝い酒は禁物である。

さて、ことしも残すところわずかになったね。記念号のでんでん・みと情報５０号（平成２４年５月発行）を書いてくれた親方に、ことし最後の話を聞いておこう。

でんでん　１２月に入り、すぐどこかに出かけたね。どこへ行ってきたの。

親方　東京都・上野公園の東京都美術館で、開催（１０（2012）月６日~１（2013）月４日）されているメトロポリタン美術館（注１）展だ。

（注１）メトロポリタン美術館：米・ニューヨーク市にある世界最大級の美術館。１８６８年開館。絵画、彫刻、写真など３００万点の美術品を所蔵。

でんでん　あいかわらずもの好きでよく出かけるね。ことし書いた、でんでん・みと情報でも次のところに行っているね。

４９号（　１月）: 横須賀の戦艦三笠

５０号（　４月）: 国営ひたちなか海浜公園

５１号（　７月）: 東京スカイツリー

５２号（１０月）: アクアラインの海ほたる

それで、美術館展を鑑賞した感想はどうだったかね。

親方　ゴッホ、ミレーなどの絵を観てもどこが良いのかよくわからないね。

よく理解できない。したがって、特にでんでんクンに話す感想はないよ。

でんでん　よく分からないのに観に行くなんて無駄な気もするね。基礎知識、素養、感性などが足りないのかね。

親方　だいぶ酷評されているね。すこし関心と興味があるときに、心に感じるものが、いくらかでもあればよい。芸術心とはそういうものだと勝手に割り切っているだけだよ。

上野公園：多彩な施設が集まる文化と歴史の森

面積５３万㎡ 東京ドーム１１個分

でんでん　よく理解できないね。せっかく東京の上野公園まで足を運んだのだから、何か別の話を聞かせてくれないかね。

上野公園といえば、４月になると人間さまたちが、華やかに咲き乱れた櫻花の下の宴でバカ騒ぎすることや、大勢の花見客が押し寄せる姿がテレビで報道されるね。

親方　そうだなあ。それでは上野公園のあらましと、園内で昼食をとった懐石料亭・韻松亭（いんしょうてい）の話をしよう。

上野公園は、東京のど真ん中の丘陵部にあり、「上野の森」とか「上野の山」とか言われるように自然の中に作られた公園なんだよ。桜の名所としても有名だね。

広すぎてどこまでが公園なのか分からない感じだ。

敷地面積は５３万㎡（１６万坪）で、東京ドーム１１個分の広さだ。

当日（１２月４日）は、曇りで日差しは弱かったが、初冬に入りながら銀杏などの樹木からの落葉は少なく、紅葉が目立ち気持ちがよい雰囲気だったね。

昨夜降った雨が路面を濡らし、埃（ほこり）がおさえられたすがすがしい雰囲気の中を、途切れることのない人々が、散策しているのには、さすが大公園内と驚いたね。

広大な敷地には多彩な施設が数多く点在している。動物園をはじめ、博物館・美術館などの文化施設から、国の重要文化財指定の建造物まで、これほど見どころの多い公園は、全国でも少ないといわれているんだよ。

これからの話は、次の項目にポイントを絞って話を進めていきたいが、でんでんクンどうかね。

① 上野公園の歴史について

② 上野公園にある美術館、博物館などの年間入場者数。

③ 公園内に建立している偉人の像について

④ 公園面積の２０％を占める自然豊かな不忍池。

⑤ 昼食をした創業１４０年の古式豊かな懐石料亭・韻松亭について。

でんでん　了解。よろしく。

徳川将軍が６人眠る上野の山

上野公園は徳川家菩提寺・寛氷寺の境内跡

親方　では、公園の歴史のことから始めよう。

この話には、偶然、園内でお会いした次の人に教えられているところが多い。

園内の案内板で、昼食する韻松亭の場所を探していると、６０代後半の紳士風の男性が近寄ってきたんだ。そして、上野公園が徳川、明治時代から今までたどってきた歴史などを詳細に話してくれたんだよ。これには感謝するとともに、博識（広く物事を知っている）なのには、東京にはこういう人がいるんだとビックリしたね。再会してまた話を聞きたいくらいだよ。お名前をお尋ねしなかったのを後悔している。

でんでん　親方が最近、歴史のことに関心をもっているのは、その影響かね。

親方　そうかも知れない。さあ、続けよう。

江戸時代に三代将軍・徳川家光が、江戸城の鬼門にあたるこの地に寛氷寺を建てた。上野公園はこの寛氷寺の境内跡である。

鬼門とは北東の方角のことで、陰陽道（注２）では鬼が出入りする不吉な方角として忌み嫌われているんだ。

寛氷寺は、芝の増上寺と並ぶ徳川家の菩提寺で権勢を誇った。歴代将軍１５代のうち綱吉、吉宗など６人が埋葬されている。

当時は寺の建物がたくさん立ち並んでいたが、幕末の慶応４年（１８６８）、寛氷寺を拠点におこった上野戦争で、かなり焼失してしまった。

それでも、園内には上野東照宮【国の重要文化財、以下（重文）】、清水観音堂（重文）、旧寛氷寺五重塔（重文）など、上野の山の歴史を物語る建造物がいたるところに残されている。

焼け野原になった地が整備され、明治６年（１８７３）に〝日本初の公園〟として上野公園が誕生したんだ。

（注２）陰陽道：太古に発生した中国の民間信仰。天の動きと人の世の動きには関係があるという思想（天人相関）で、万事に吉凶を天文の変化から予知し、これによってどう対処していくかを決めるもの。

上野の山は新政府軍と幕臣・彰義隊（しょうぎたい）の激戦地

彰義隊、最強のアームストロング砲に散る

でんでん　上野戦争とは？

親方　でんでんクンも歴史に興味をもってきたのかね。

慶応４年（１８６８）、明治新政府誕生に不満を持った幕臣の一部が彰義隊（しょうぎたい）を結成し、江戸城の無血開城後も寛氷寺に立てこもり抵抗し続けた。

その彰義隊も長州の村田蔵六（大村益次郎）率いる新政府軍の最強兵器のアームストロング砲によって半日で壊滅した。

これが上野戦争だよ。上野公園はかって壮絶な戦いが行われた戦場跡でもあるんだ。

西郷隆盛像（後述）の裏手にひっそりと建つ彰義隊墓もひとつの歴史を教えてくれる重要な史跡だ。

上野動物園の入場者数　年間３０３万人

国立の博物、美術館３館あわせて５４２万人

つぎは、美術館、博物館などの年間入場者数はどれくらいかを説明する。

公園全体の入場者数は、桜の花見客などもあるので、キチンとつかめないね。

園内施設への入場者数は、日本の遊園地とテーマパークの２００９年度ランキングによると次のようになっている。国立３つの博物館、美術館だけでも合計５４２万人にもなる。多い人数だ。園内を歩いていると、その人たちで活気を感じるね。

上野動物園	３０３万人	全国１４位
東京国立博物館	２４２	１７
国立科学博物館	１７７	３１
国立西洋美術館	１２３	５３

全国１位は、東京ディズニーランドの２６００万人で、だんトツだ。

でんでん　話しを聞いているうち面白くなってきたね。上野公園で人気を集めているのはなにかね。

親方　でんでんクン、好奇心を持つことはよいことだよ。

人気があるのは、今でもジャイアントパンダのいる上野動物園だろうね。

この動物園は、明治１５年（１８８２）生まれで、日本最初の動物園だ。これの説明は、残念だが時間も足りないので、勘弁して貰いたいね。

西郷隆盛像が犬連れてゆったり立っている

国立西洋美術館の前庭に
ロダンの彫刻「地獄の門」

そうだなあ。でんでんクンの熱意にこたえて、公園内に立っている像のうち、いくつかの像を紹介しておこう。

その中で一番ポピュラーなのは、でんでんクンも聞いたことがあると思うが、明治維新の指導者・西郷隆盛の像だ。上野公園の玄関口となる、上野の山を上がってすぐの場所に、頂（いただき）から麓（ふもと）を見渡すように立っている。犬を連れた姿は有名だね。

昔は渋谷のハチ公とともによく待ち合わせの場所として使われていたんだ。

今はどうなのかなあ。

西郷隆盛像と同様にこちらもポピュラーな偉人、黄熱病研究で世界的に有名な、野口秀世博士の銅像がある。場所は、東京国立美術館（重文）前にある、公園のシンボル・大噴水の東側だ。

明治維新の功労者で、戊辰戦争の総督（東征大将軍）、日本赤十字社創設期の総裁を務めた小松宮彰仁親王の勇壮な騎馬像も立っている。

来年放映のＮＨＫ大河ドラマ「八重の桜」で、放映される戊辰戦争の会津若松・鶴ヶ城落城や白虎隊の最後を想像すると、歴史の因縁と無情さなどを感じるね。

国立西洋美術館の前庭には、ロダン（注３）の「地獄の門」、「考える人」「カレーの市民」の彫刻が展示されている.

（注３）オーギュスト・ロダン：フランスの彫刻家（１８４０－１９１７）
１９世紀を代表する彫刻家とされ、『近代彫刻の父』と称される。代表作に『地獄の門』

不忍池（しのばずのいけ）は蓮池　・ボート池・鵜の池

自然の宝庫に数十種類の鳥類が１万羽超

でんでん　うまく表現できないが、上野公園は、まさに「文化の森」なんだね。自然面で紹介しておきたいのはどこかね。

親方　それは、自然豊かな不忍池（しのばずのいけ）だね。

公園の南西に広がる池で、原始時代の海の名残ともいわれている。周囲は約２ｋｍ。全体で約１１万㎡（３．３万坪、公園全面積の２０％）

この池は遊歩のための堤で、３つの部分に分かれている。

それは、一面が蓮で覆われる蓮池（５５千㎡）、ボートを漕いて楽しむことのできるボート池（３０千㎡）、さまざまな水鳥が遊ぶ鵜の池（２５千㎡）だ。

不忍池では、渡り鳥、留鳥あわせて数十種類の鳥類が見られ、多いときには１万羽を超えることもあるんだよ。上野公園は素晴らしい自然に恵まれているね。

１４０年前の姿で商売、懐石料亭・韻松亭（いんしょうてい）

亭名は上野の鐘が松に韻（ひびく）から

次は昼食をした懐石料亭・韻松亭（いんしょうてい）の話だね。食べることになると吾輩も関心があるんだ。

親方　そうか。これが最後の説明だね。

韻松亭は、老舗西洋料理店・精養軒の隣にある。

この亭は、木々に半ば隠れるように、建て替えをしないで補修しただけの１４０年前の姿でいる。店構えは、古式豊かな和風の高級感を漂わせている。

創業は明治８年（１８７５）。明治政府による公園開発に際し、民間による飲食施設の一つとして作られたものなんだよ。したがって、韻松亭の歴史とは、上野公園の歴史でもある。

命名の由来は高尚なんだ。名付け親は、当時の上野博物館園長・町田久成。

芭蕉の俳句に『花の雲、鐘は上野か浅草か』の名句がある。

『桜の季節に、芭蕉が深川の庵で聞いた「ご～～ん」という鐘は、上野の寛氷寺だろうか、それとも浅草の浅草寺だろうか』と、単純でわかりやすい句だ。

町田久成は、その鐘が松に韻（ひびく）さまを愛（め）でて、韻松亭と名づけた。

旧体制の支配者のゆかりのお寺から、庶民の楽しむ場へ、いち早く変わろうとしたんだね。それが、江戸時代の茶店とは、歴史は切れていないんだ。少し難しい表現かな。

でんでん　昼食はなにを注文したのかね。サービスの程度は。

親方　でんでんクンのことだ。この質問はくると思っていたよ。

サービスは満点だね。着物袴のお姉さん方が出向え、にこやかで丁寧な接客にはなごむね。格式がある。竹垣に囲まれた苔むした庭を見ていたら、気のせいか幽玄の雰囲気が漂っていたね。

食事は、花かご御膳というものを注文した。おいしかったね。味の表現はできない。これもメトロポリタン美術館展を鑑賞した感想と同じかな。

でんでん　あまり得意でない歴史の話を聞かせくれたことに感謝したいね。ご苦労さんでした。

話は変わるが、いま人間さまたちが困っていることのひとつにエネルギー問題があるね。それについて何か明るい話題があったら説明してくれるかね。

サハリン―茨城　１４００ｋｍ

ガス パイプライン構想　コスト低減に寄与

親方　それでは、ロシア・サハリン州と茨城県との間に、パイプラインを敷設し、天然ガスを直接供給する構想の話をしよう。

朝日新聞が報道（２０１２.１１.４付）したものを要約、紹介し、本号を終わりとしたい。

◆構想のあらまし

①　この構想は、ロシア・サハリン州から茨城県鹿島港までの太平洋海底に、全長１４００ｋｍのパイプラインを敷設し、天然ガスを直接供給するもの。パイプの直径は７５㎝。鹿島港の近くで陸に上げ、東京ガスのパイプラインにつなぐ。

②　敷設投資額は、４０００億円の巨大事業である。

③　東京ガスと石油資源開発、新日鉄住金ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞの企業連合は、実現までに５年から７年と見込んでいる。プロジェクトの詳細は、すでに作成し始めている。

④　このプロジェクトが成功すれば、ロシアから日本に船で輸入する液化天然ガス（ＬＮＧ）の価格が、大きく下がると見込んでいる。

ガスパイプライン敷設で

ＬＮＧ基地と外航ＬＮＧ船 不要

でんでん　これが実現したら日本に大いに貢献するね。

親方　　でんでんクンクン、良いことを言うね。

日本では、液化天然ガス（ＬＮＧ）を手に入れるのには、次のように苦労しているんだよ

まず産油国にＬＮＧ基地を建設し、天然ガスを液化する。それを魔法瓶の構造をした外航ＬＮＧ船で輸入すろ。日本では液化された天然ガスを気化するＬＮＧ基地を建設する。大変なコストをかけているんだよ。

私たちが住んでいるひたちなか市から北へ１５ｋｍほど行った日立市の日立港に、いま、東京ガスがＬＮＧ基地を建設中なんだ。建設費１２００億円、工期２０１５年度の大建設工事だよ。

ガスパイプラインが敷設されると、ＬＮＧ基地と外航ＬＮＧ船は不要になるので、大幅にコストが低減できることを重ねて強調しておきたいね。

国内では、ほとんどの原発が止まっている。火力発電の燃料である石油や液化天然ガス（ＬＮＧ）などの費用が、年３兆円ほども海外に流れている。売り手に足元を見られ、価格が上がり、「国の富が流れ続けている」と、連日のように報道されているんだ。

この問題は、政治がかなり劣化しているので、当面、民間主導で対応しなければならないね。

でんでんクン、今年はご協力ありがとう。良いお年を。

（文責　小沼　甚一）

参考文献

『東京とっておきの公園７０』（ジエ・エー・エフ出版社）

『歩く地図東京』（山と渓谷社）